

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	全職員に理念の意義が浸透していない。	理念の意義について理解を深め、全職員で共有する。	①フロア会議で理念の意義を再考し、その為の取り組みを職員で検討する。 ②検討結果を実践する。 ③3ヶ月後にモニターリングを行いユニット会議にて取組内容の再検討を行う。	6ヶ月
2	2	事業所自体が地域の一員として日常的に交流できていない。	運営推進委員である古町・春日・白坪校区の民生委員の協力を得ながら、地域との交流を図る。	①運営推進委員会にて協力を要請し、地域行事や活動に参加する機会を作る。 ②地域住民が参加できる勉強会等を開催する。 ③サロン活動を地域に開かれたものに出来るよう施設での検討を行う。	3ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた方針が明確化されていない。	現行の体制で重度化や終末期に向けた方針の再検討を行う。	①重度化や終末期に向けた方針をフロア長会議にて検討する。 ②担当者会議において方針内容を家族に説明する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。